

2018年度事業報告書

(2018年3月1日～2019年2月28日)

会員の移動状況

会員種別	員 数		増減数
	平成31年2月28日 現在	平成30年2月28日 現在	
名誉会員	50	52	-2
永年会員	291	279	12
正会員	3776	3928	-152
学生会員	429	472	-43
維持会員	200.5	206.5	-6
特別会員	542	540	2
公益会員	347	359	-12
計	5635.5	5836.5	-201

1. 第7回定時総会（定款第17条）

日時 平成30年4月24日（火）14時30分～16時
場所 アリアル会議室 ANNEX 五反田（東京都品川区西五反田1-3-8）参加者数 112名

2. 会誌、研究報告及び資料の刊行（定款第5条(1)）

(1) 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成30年3月5日	2018 3	5,900
至 平成31年2月5日	2019 2	5,900

毎月1回5日に発行

(2) 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成30年3月5日	67 3	2,000
至 平成31年2月5日	68 2	2,000

毎月1回5日に発行

(3) 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成30年3月10日	34 3	620
至 平成31年2月10日	35 2	620

毎月1回10日に発行

(4) 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。

本誌はオンラインジャーナル。

発行年月日	巻 号
自 平成30年3月10日	34 3
至 平成31年2月10日	35 2

毎月1回10日に発行

(5) メールマガジンを毎月1回発行した（配信数3,200）。

(6) 次の書籍を編集し、発行した。

- ① 分析化学実技シリーズ機器分析編15「走査型プローブ顕微鏡」（共立出版）
 - ② 「第2回 LC/MS 分析士二段試験解説書」（本会）
 - ③ 「第3回 LC/MS 分析士二段試験解説書」（本会）
 - ④ 「第2回 LC/MS 分析士三段試験解説書」（本会）
- (7) 教育用DVD並びにビデオシリーズの頒布を行った。

3. 講演会、講習会及び研究会の開催（定款第5条(2)）

[研究発表会]

(1) 第78回分析化学討論会

日時 平成30年5月26日・27日
場所 山口大学常盤キャンパス（山口県宇部市）
参加者数 680名

(2) 第67年会

日時 平成30年9月12日～14日
場所 東北大学川内北キャンパス
参加者数 1,250名

(3) 4th Asian Symposium on Analytical Sciences

日時 平成30年9月12日・13日
場所 東北大学川内北キャンパス
参加者数約100名

(4) 特別公開シンポジウム「産業界シンポジウム-AI, MI 時代への期待と課題」

日時 平成30年9月14日
場所 東北大学川内北キャンパス
参加者数約150名

(5) 日本学術会議化学委員会化学分科会企画講演会「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム」日本分析機器工業会・日本分析化学会・科学技術振興機構 共同主催

日時 平成30年9月6日
場所 幕張メッセ国際会議場コンベンションホール
参加者数 約200名

[講習会]

(1) 第27回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 平成30年3月1日・2日
場所 日本電気計器検定所本社 参加者 23名

(2) 第36回分析化学基礎セミナー（無機分析編）

日時 平成30年6月26日・27日
場所 エッサム本社ビル 参加者 70名

(3) 第28回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 平成30年6月28日・29日
場所 日本電気計器検定所本社 参加者 24名

(4) 分析信頼性実務者レベル講習会「第19回金属分析技術セミナー」

日時 平成30年7月12日・13日
場所 五反田文化会館 参加者 25名

(5) 分析信頼性実務者レベル講習会「第22回水中の微量金属成分分析」

日時 平成30年10月12日及び
平成31年1月25日

場所 五反田文化会館 参加者 19名

(6) 分析信頼性実務者レベル講習会「第18回ダイオキシン類分析技術セミナー」

日時 平成30年10月18日・19日
場所 ㈱島津製作所東京支社 参加者 22名

(7) 第29回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 平成30年11月1日・2日
場所 日本電気計器検定所本社 参加者 17名

(8) 分析信頼性実務者レベル講習会「第17回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」

日時 平成30年11月8日・9日
場所 五反田文化会館 参加者 11名

(9) 第37回分析化学基礎セミナー（無機分析編）

日時 平成30年11月26日・27日
場所 (株)島津製作所東京支社 参加者 36名

(10) 第3回電池開発のための分析・解析技術講習会

日時 平成30年12月19日
場所 大田区産業プラザ 参加者 23名

(11) 第8回分析化学の基本と安全セミナー

日時 平成31年1月31日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 36名

(12) 第30回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 平成31年2月7日・8日
場所 日本電気計器検定所本社 参加者 13名

4. 調査、研究及び建議（定款第5条(3)）

(1) 平成29年度区分Bの日本規格協会の委託に基づき、JIS K 0050「化学分析方法通則」の改正原案作成について、平成30年6月30日に成果報告し、平成30年11月15日経済産業省にて対面審議が行われ、平成31年2月20日に公示された。

(2)平成27年度区分Cの日本規格協会の委託に基づき、「分析化学用語(熱分析部門)」新規規定の原案作成を行ったが、再審議案件となり、平成30年度区分Aの日本規格協会の委託に再公募し、平成30年6月20日、平成30年10月19日に計2回の委員会を開催した。平成30年10月30日に成果報告し、審議待ちである。

(3)日本分析化学会が原案作成団体であるJIS K 0108「排ガス中の硫化水素分析方法」は廃止して新規格に統合する方向で、今後、当規格も含めて「排ガス中の硫黄化合物分析方法(仮称)」として日本環境測定分析協会より提案していく予定である。

[技能試験]

事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。

(1)ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第20回ダイオキシン類分析(フライアッシュ)」

(2)ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第14回プラスチック中有害金属成分の分析(有害物質規制/RoHS指令対応)」

(3)ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第13回食品成分の分析(魚肉ソーセージ)」

(4)ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第3回放射能分析(大豆)」

(5)ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第2回土壤中無機成分及び残留農薬分析」

[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質のうちプラスチック標準物質の安定性試験を実施し、保管・管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。

新規標準物質として、マグネシウム認証標準物質の開発に着手した。

5. 関係団体との協力

(1)次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。
日本学術会議, JABEE/化学分野 JABEE 委員会,
(一社)化学情報協会, (公社)新化学技術推進協会グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク, (公社)日本工学会, 標準物質協議会, ASIANALYSIS 国際諮問委員会, Asian Analytical Chemistry Network
(2)次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。
(一財)日本規格協会, (一社)日本化学工業協会, (国研)産総研計量標準管理センター, (一社)日本試薬協会, (公社)日本セラミックス協会, (一社)日本環境測定分析協会, (公社)日本適合性認定協会, (一社)日本分析機器工業会

6. 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第5条(4))

(1)2018年度学会賞を次のとおり授与した。
片山 佳樹 君「診断・創薬のための細胞シグナル測定法に関する研究」
渡慶次 学 君「機能集積化マイクロ流体デバイスの開発と分析化学への応用」
戸田 敬 君「大気物質の動態を明らかにする分析化学」
(2)2018年度学会功労賞を次のとおり授与した。
伊藤 一明 氏「イオンクロマトグラフィーによる海水中微量栄養塩類の高感度測定法の開発と学会への貢献」
河野 宏彰 氏「無機微量分析における試料の分解・溶液化と分離・濃縮技術の普及と学会への貢献」
松村 竹子 氏「電気分析化学及びマイクロ波化学に関する研究と分析化学の普及活動及び学会への貢献」

山田 悦 氏「水圏及び大気圏環境における微量成分分析及び動態解析法の研究と学会への貢献」

(3)2018年度技術功績賞を次のとおり授与した。

鈴木 康弘 氏「微量不純物分析による物的証拠の異同識別」

高山 透 氏「X線回折を主とした鉄鋼関連物質の高度解析技術の開発」

前田 恒昭 氏「ガスクロマトグラフィーによる環境分析のための各種デバイスの開発」

(4)2018年度奨励賞を次のとおり授与した。

上村 真生 君「光応答性マテリアルによるバイオ分析法の開発」

東海林竜也 君「ナノ構造体を用いた新奇光捕捉法の開発と展開」

高橋 幸奈 君「ナノ領域光貯蔵・局在化システムの設計, 高性能化と分析科学への展開」

谷 英典 君「蛍光色素及び修飾核酸を利用した生体分子解析技術の開発とその応用」

(5)2018年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。

JAIMA 機器開発賞

清水 禎 氏・端 健二郎 氏・大木 忍 氏・穴井 孝弘 氏

「Bi系高温超電導体を用いた世界初の超1GHz NMR装置の開発」

鈴江 崇彦 氏・北山 紗織 氏・谷口 悟 氏・村田 周司 氏

「ドリフトフリー環境大気自動計測器の開発」

CERI 評価技術賞

鈴木彌生子 氏「安定同位体比および微量元素分析による食品の産地判別技術の開発」

(6)2018年度女性Analyst賞を次のとおり授与した。

佐藤しのぶ 君「分子認識を利用した電気化学的バイオセンサの構築」

津村ゆかり 君「危険ドラッグ・残留農薬等健康安全に関わる分析技術の開発と分析化学の応用・普及への取り組み」

(7)2018年度有功賞を次のとおり授与した(敬称略)。

秋月 靖 安部 健一 阿部 雄治 井浦 英治

磯貝日登美 市岡めぐみ 岩瀬鋭二良 岡内 宏光

奥原 紀子 小野田正文 角田 恭通 川野 健司

木村 善哉 蔵本 俊彦 高野 武 小林 寛

小林まなみ 佐藤真由美 四方堂眞壽美 新池谷 努

鈴木 誠 周藤美佳子 多田アユミ 田畑 誠

辻 康之 中 美智子 奈良部 雄 成田 雅幸

野辺 政博 橋本 紅良 林 修 二見 直美

本田 信弘 前田 繁則 牧岡 慎吾 松永 圭子

松本 裕美 本山 晃 森田 清志 森元 良二

矢島 善徳 安永 英俊 矢野 勲 山口 高広

山中 康光 吉田 洋子 吉武 和則 脇坂 純一

(8)2017年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。

論文題名『口腔がんのスクリーニングに関連するhTERT遺伝子のメチル化検出のための電気化学的ハイブリダイゼーションアッセイ』

著者名:佐藤しのぶ¹・原口和也²・早川真奈²・富永和宏²・竹中繁織¹(¹九州工業大学,²九州歯科大学)

掲載ページ:「分析化学」第66巻第6号, 437~443ページ

(9)他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

7. その他前条の目的を達成するために必要な事業(定款第5条(5))

- (1) 分析士認証事業
- ①液体クロマトグラフィー分析士四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- ②LC/MS 分析士四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- ③イオンクロマトグラフィー分析士二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- (2) 広報
広報委員会展望とトピックス委員会において、第78回分析化学討論会及び第67年会研究発表の中で注目される研究内容を記者会見し、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。
- (3) 若手交流会
第78回分析化学討論会および日本分析化学会第67年会において若手ポスター賞選考を支援した。各支部での若手交流会企画を共催および支援した。
- (4) AACN
Asian Analytical Chemistry Network に参加し、そのホームページを運用した。
- (5) 研究懇談会
研究懇談会活動を次のように行った。
- ①有機微量分析研究懇談会
【委員長：酒井達子(名城大学)、委員12名、会員数172名(個人会員166名、顧問6名)】委員会を2回。第85回有機微量分析研究懇談会、第107回計測自動制御学会化学量計測部会、第35回合同シンポジウムを6月14日～15日、東京都八王子市(首都大学東京南大沢キャンパス)で開催(計測自動制御学会化学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛)し、特別講演2件、口頭発表9件、ポスター発表17件、その他各委員会報告および技術研修会を行った。講演会(第67年会9月12日、東北大学川内北キャンパス、招待講演1件)、第14回マイクロ電子天びん技術研修会(8月27日、京都大学大学院薬学研究所)および第15回マイクロ電子天びん技術研修会(1月25日、理化学研究所)を開催したほか、会報20号を発行(2月)した。
- ②ガスクロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：佐藤博(長崎国際大学)、運営委員会委員53名、会員数101名(個人会員42名、団体会員46機関、名誉会員13名)】運営委員会を5回開催した。研究会開催数：7回(第357～363回、特別講演会、JAIMAコンファレンスの講習会(GC編とセパレーションサイエンス編)開催、分析化学年会での講演会を含む)。また第24回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会(8月1～3日麻布大学)を開催した。本部主催の日中韓シンポジウム2018(閩南師範大)を開催支援した。ガスクロマトグラフィー研究懇談会設立60周年記念事業として日中韓シンポジウムを行った。また、356回と357回の2回にわたる60周年記念講演会を実施して表彰し、その後作成した要旨集を表彰者へ配布する準備を行った。更に、書籍「役に立つGC分析」を増版する準備を進めた。
- ③高分子分析研究懇談会
【委員長：石田康行(中部大学)、運営委員会委員14名、会員数152名(個人会員52名、法人会員100社)】開催数：例会5回(第392～396回、第393回は1泊2日の夏期合宿として開催)。さらに第67年会において研究懇談会講演(9月12日、東北大学、第57・第58回高分子分析技術講習会(明治大学駿河台校舎)、第23回高分子分析討論会(10月11～12日、名古屋国際会議場)をそれぞれ開催した。
- ④X線分析研究懇談会
【委員長：辻 幸一(大阪市立大学)、運営委員28名、参与9名、会員数141名(個人会員数123名、団体会員18名)】開催数：例会3回(第264～266回)、運営委員会2回。「X線分析の進歩」第49集をアグネ技術センターより出版したほか、第54回X線分析討論会(10月25～26日、東京理科大学神楽坂キャンパス、東京、参加者178名)を主催し、講習会として第10回「蛍光X線分析の実際」(7月3～5日、東京理科大学神楽坂校舎)を主催した。第13回浅田榮一賞を永井宏樹氏(アワーズテック株式会社)に授与し、X線分析討論会において2件の学生賞を選考し授与した。
- ⑤分析試薬研究懇談会
【委員長：片山佳樹(九州大学)、運営委員会委員17名、参与委員15名、会員数103名(個人会員100名、賛助会員3名)】開催数：1回。第67年会において、分析試薬研究懇談会(9月13日、東北大学、講演2件)を開催した。また第15回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。
- ⑥溶液界面研究懇談会
【委員長：塚原 聡(大阪大学)、運営委員13名、個人会員104名】。開催数：1回。東北大学で開催された第67年会の「界面・微粒子」セッションの中で2件の講演(9月12日)を行った。
- ⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：中村 洋(東京理科大学)、役員会役員の数：42名、会員数：226(個人会委員：165、団体会員：61)】開催数：12回(第321～332回)。また第22回特別講演会・見学会(5月18日、東洋食品研究所)、第23回特別講演会・見学会(11月21日、味の素・川崎工場他)、LC- & LC/MS-DAYS 2018(11月29日～30日、箱根パークス吉野)、第24回LC & LC/MS テクノブラザ(2019年1月17日～18日、横浜情報文化センター)、運営委員会総会I(8月8日～9日)、運営委員会総会II(2019年2月19日～20日)を開催した。このほか関東支部主催第59回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」(7月25日～27日、慶應義塾大学薬学部)、及びJAIMAセミナー「これであなたも専門家」のLC編(9月6日、幕張メッセ)、JASIS 関西2019 JAIMA セミナー「これであなたも専門家」のLC編(2月6日、大阪府立会議場の担当とセパレーションサイエンス編(9月7日、幕張メッセ)を共同担当し、第14回千葉県分析化学交流会(7月4日、東都医療大学)、第9回生涯分析談話会(5月25日、常盤工業会館)、第10回生涯分析談話会(9月12日、東北大学)をそれぞれ後援した。また本研究懇談会編「LC/MS, LC/MS/MQ & A 100 獅子の巻」(オーム社)、及び「第2回LC/MS分析士三段試験解説書」(日本分析化学会)、「第3回LC/MS分析士三段試験解説書」(日本分析化学会)の実質的な編集・執筆を担当した。さらに、2018年度分析士会総会・研修会(12月3日、五反田文化会館)を後援した。
- ⑧化学センサー研究懇談会
【委員長：久本秀明(大阪府立大学)、会員数44名(個人会員44名)】会員名簿の更新を行った。第67年会において化学センサー研究懇談会講演を行った(9月12日、東北大学川内キャンパス)。九州工業大学の佐藤しのぶ先生に講演をお願いし、「電気化学的テロメラーゼアッセイ法の確立とそれによる口腔疾病スクリーニング」を拝聴した。多くの参加者があり、議論も盛況であった。その後、研究懇談会会議を実施し、今後の活動について意見交換を行った。
- ⑨電気泳動分析研究懇談会
【委員長：江坂幸宏(岐阜薬科大学)、顧問7名、常任委員13名、委員37名】第38回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2018、12月、大阪)を共催したほか、懇談会講演会を1回(9月年会時、仙台)開

- 催した。また電気泳動分析懇談会賞（寺部茂賞）の表彰を行った。第5回寺部茂賞は福島県立医科大学志村清仁教授に授与された。
- ⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：森勝伸（高知大学理工学部）運営委員会委員32名、会員数101名（個人会員90名、維持会員7社、団体会員1社）】IC講習会（2018/9/7、JAIMAセミナー、IC編、幕張メッセ）を行った。セミナー参加者約2万人の内、ICセミナー参加者84名。CJK2018（2018/11/30-12/3、魏南師範大学、中国、アモイ）の実施に協力した。第35回イオンクロマトグラフィー討論会（東京都、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター、参加者69名）を開催した。運営委員会を3回開催した。専門認証委員会を2回開催した。IC分析士初段・2段認証試験の実施及び認定に協力した。分析化学特集号（日本分析化学会）の実質的な編集・執筆を担当した。
- ⑪フローインジェクション分析研究懇談会
【委員長：手嶋紀雄（愛知工業大学）、運営委員会委員50名、会員数137名（個人会員115名、賛助会員11名、特別賛助会員11社22口）】講演会を2回（FIA講演会（11月16日、芝浦工業大学）、年會会期中（9月12日、東北大学））、講習会を1回（JAIMAセミナー6「これでもあなたも専門家—流れ分析編」（9月5日、幕張メッセ国際会議場）を開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行（35巻1、2号）及びそのための編集委員会を2回（5月27日、山口大学と11月16日、芝浦工業大学）、また褒賞委員会を1回（年會会期中、9月13日、東北大学）開催した。CJK symposium on analytical science 2018（11月30～12月3日、瀧州市翔祥元山ホテル）をGC、LC、FIA、環境分析各研究懇談会と協力支援した。14th Flow Analysis（12月1日～7日、Bangkok）開催の協力を行った。
- ⑫環境分析研究懇談会
【委員長：梅村知也（東京薬科大学）、委員8名、顧問7名、会員数81名（個人会員78名、グループ会員3名）】講演会を2回（第28回を年會会期中（9月14日、東北大学）、第29回を10月4～5日、群馬大学伊香保研修所）開催した。また、運営委員会を年會会期中（9月14日第67年会）に1回開催した。また、2018 CJK Symposium on Analytical Chemistry（11月30日～12月3日、漳州市、中国）に演者を推薦したほか、レアメタル分析研究懇談会ならびに表示・起源分析技術研究懇談会とジョイント講演会を企画した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。
- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会
【委員長：安井明美（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）、運営委員会委員17名、個人会員66名、団体会員16社】講演会を3回（第19回を8月3日 東京電機大学 千住キャンパスにおいて、9月12日 第67年会において、ジョイント講演会/第20回を1月25日 東京電機大学 千住キャンパスにおいて）開催した。運営委員会を2回開催した。鈴木彌生子氏が、「安定同位体比分析および微量元素分析による食品の産地判別技術の開発」で、日本分析化学会 2018 年度先端分析技術賞 CERi 評価技術賞を受賞した。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会
【委員長：小熊幸一（元千葉大学）、運営委員会委員：11名、会員数：20名（個人会員のみ）】9月12日に運営委員会、9月14日に講演会を第67年会会場（東北大学）にて開催した。2019年1月25日に東京電機大学東京千住キャンパスにおいて表示・起源分析技術研究懇談会ならびに環境分析研究懇談会とジョイント講演会を開催した。
- ⑮熱分析研究懇談会
【委員長：西本右子（神奈川大学）、事務局担当委員2名、個人会員16名、団体会員8社】講演会を1回（9月13日に第67年会会場において）開催した。JASIS2018における講習会、JAIMAセミナー5「これでもあなたも専門家—熱分析編（2018年9月5日）」を開催した。JIS分析化学用語（熱分析編）の原案作成委員会に協力した。第2回熱分析討論会（2018年11月22日つくば国際会議場）開催した。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会
【委員長：山口敏男（福岡大学）、運営委員会委員18名、会員数18名（個人会員18名、賛助会員0名）】講演会ならびに運営委員会を9月12日の分析化学会第67年年会（東北大学）で開催した。
- ⑰受託分析研究懇談会
【委員長：中田邦彦（株）総合水研究所）、運営委員会委員17名、会員数24名（個人会員16名、賛助会員0名、法人8口）】。第5回総会、第6回セミナーおよび情報交換会（11月8日、島津製作所イベントホール（東京））を開催した。セミナー演題4題。施設見学会（12月14日、東洋水産関東工場）を行った。例会（技術情報交換会および運営委員会）を4回開催した。
- ⑱電気分析化学研究懇談会
【委員長：前田耕治（京都工芸繊維大学）、運営委員会委員25名、顧問3名】5月に開催された第78回討論会において、本懇談会運営委員の上田先生がオーガナイザーを務めた討論主題「電気化学的センシング技術の新展開」のセッションに、懇談会として協力し、依頼講演4件、一般講演4件の口頭発表が行われた。また、9月の第67年会では、1日目に懇談会主催で、末永先生と加納先生によるバイオ電気化学に関する依頼講演2件を実施し、活発な質疑が行われた。また、同年会会期中に運営委員会を開催し、今後の運営について議論した。
- ⑲ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会
【委員長：渡慶次学（北海道大学）、副委員長：火原彰秀（東北大学）、会員数：約30名（個人会員のみ）】9月4日～7日に開催されたJASIS（幕張メッセ）でのRSC Tokyo International Conference 2018に協力した。9月の第67年会の特別シンポジウム「イムノアッセイの新展開」に協力した。
- ⑳バイオ分析化学研究懇談会
【委員長：佐藤守俊（東京大学）、運営委員会委員9名、顧問2名、会員数11名（個人会員11名、賛助会員0名）】本懇談会事務局の吉本敬太郎がゲストエディターとなり、Analytical Sciences 誌でバイオ分析関連の特集号「New Insights and Concepts of Biological Sciences Based on Cell and Biomolecule Analysis」を企画・立案。2019年1月に発刊した。9月13日運営委員会を、14日に講演会を第67回年會会場（東北大学）にて開催した。また8月に第7回 Chem-Bio Joint Seminar（夏）を東京大学にて開催した。
- ㉑スクリーニング分析研究懇談会（平成29年度新設）
【委員長：津越敬寿（産業技術総合研究所）、運営委員会委員7名、会員数11名（個人会員8名、団体会員3口）】講演会を3回開催した；9月5日 幕張メッセ、JASISシンポジウム2018・日本質量分析学会との合同企画の第2部として「接点を探る『迅速スクリーニング』と題して」；9月14日（第67年会会場） 東北大学、「サイレントチェンジと疑われる分析事例の紹介と品質管理による未然防止策」；2月1日 日本電子・東京事務所、「工業材料などのスクリーニング技術の最新動向」。また、運営員会1回を開催した。

(6) 支部

2018年度の支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員を選任

支部長	伊藤 慎二				
副支部長	蠣崎 悌司	渡慶次 学			
参与	石本 裕	伊藤八十男	大澤 雅俊		
	大谷 真	片岡 正光	片山 則昭	神 和夫	
	高橋 英明	中野 益男	那須 淑子	橋村 雅之	
	長谷部 清	平間 祐志	藤吉 亮子	森田みゆき	
	山下 俊治	横沢 龍朗			
監事	加藤 昌子	宇都 正幸			
庶務幹事	三原 義広	三浦 篤志			
会計幹事	石田 晃彦	坂入 正敏			
幹事	青柳 直樹	上野 貢生	大木 淳之		
	大津 直史	奥田 弥生	川口 俊一	菅 正彦	
	喜多村 昇	(木村)須田廣美	工藤英博	蔵崎 正明	
	黒澤 隆夫	齋藤 健	齋藤 徹	堺井 亮介	
	佐藤 久	鈴木 智宏	高瀬 舞	高橋 徹	
	田中 俊逸	谷 博文	田原るり子	千葉 真弘	
	敦賀 昇	富田 恵一	豊田 和弘	中田 耕	
	中谷 暢丈	永洞真一郎	西村 一彦	古崎 睦	
	松井 宏之	南 尚嗣	村井 毅	諸角 達也	
	山田 幸司	吉村 昭毅			

②研究発表会

- (1) 夏季研究発表会 (共催) : 7月 21 日, 北見工業大学 (北見市) にて開催, 一般講演 130 件, 特別講演 2 件 (参加者 165 名)。またオホーツクピアファクトリーにて懇親会を行った (51 名)。
- (2) 化学教育研究協議会 (共催) : 11月 23 日, 北海道科学大学サテライトキャンパスで開催, 講演 1 件, 分析化学若手教育研究者による話題提供, 自由討論, 懇親会を行った (参加者 70 名)
- (3) 冬季研究発表会 (共催) : 1月 22~23 日, 北海道大学創成科学研究棟で開催, 研究発表 178 件, (口頭 102 ポスター 76), 特別講演 1 件 (参加者 321 名)。また懇親会を行った (参加者 36 名)。

③セミナー

- (1) 第 34 回分析化学緑陰セミナー : 7月 7~8 日, くつろぎの宿北誠荘 (富良野市) にて開催, 講演 4 件, ポスター講演 20 件, 懇親会を行った (参加者 48 名)。

【東北支部】

①支部役員を選任

支部長	糠塚いそし				
次期支部長	壹岐 伸彦				
副支部長	渡辺 忠一	西澤 精一			
参与	秋葉 健一	石井 一	宇野原信行		
	大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明	荻野 博	
	長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一	斎藤 紘一	
	佐藤 允美	玉木 洋一	南原 利夫	広川吉之助	
	星野 仁	山崎 慎一	四ツ柳隆夫		
監事	岩田 吉弘	猿渡 英之			
庶務幹事	大野 賢一				
会計幹事	田副 博文				
幹事	赤坂 和昭	安斉 順一	石川大太郎		
	伊藤 徹二	伊野 浩介	井上 久美	井上 亮	
	遠藤 昌敏	大江 知行	大橋 弘範	小川 信明	
	押手 茂克	尾高 雅文	柏倉 俊介	上條 利夫	
	唐島田龍之介	菊地 洋一	北川 文彦	佐藤 勝彦	
	佐藤 健二	佐藤 雄介	珠玖 仁	志村 清仁	
	鈴木 敦子	平 修	高貝 慶隆	鶴岡 博章	
	寺前 紀夫	照井 教文	仲川 清隆	中川 公一	
	中村 重人	中山 健一	南雲 誠心	西澤 松彦	
	野原 幸男	橋本 幹雄	火原 彰秀	平野 愛弓	

平山 和雄 福島美智子 福村 裕史 藤村 務
末永 智一 松村 洋寿 眞野 成康 盛田 伸一
山田 正俊 和久井喜人 渡辺 壱 渡辺 健一

②研究発表会

- (1) 日本分析化学会第67年会 : 9月 12~14 日, 東北大学川内北キャンパスで開催された。614 件の講演 (依頼講演含) があり, 1250 名の参加があった。
- (2) 平成30年度化学系学協会東北大会 (主催 : 日本化学会東北支部, 共催 : 日本分析化学会東北支部) : 9月 15~16 日, 秋田大学手形キャンパスにて開催された。335 件の講演があり, 540 名の参加があった。

③セミナー (主催)

- (1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー 2018 : 3月 17 日, 東北大学工学部青葉記念会館にて開催した。招待講演 2 件が行われ, 43 名の参加があった。
- (2) 平成30年度東日本分析化学若手交流会 : 7月 6~7 日, 宮城県松島町 新富亭にて開催した。招待講演 2 件, 依頼講演 5 件, ポスター講演 37 件を行い, 70 名の参加があった。

④セミナー等共催事業

- (1) 第35回無機・分析化学コロキウム : 6月 1~2 日, 東北大学川渡共同セミナーセンターにて開催された。招待講演 4 件, 依頼講演 7 件を行い, 80 名の参加があった。

【関東支部】

①役員を選任

支部長	望月 直樹				
次期支部長	早下 隆士				
副支部長	内山 一美	川田 哲	鈴木 康志		
	藤浪 眞紀				
参与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男		
	小熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一	
	澤田 清	渋谷 雅美	菅原 正雄	杉谷 嘉則	
	高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	角田 欣一	
	中込 和哉	中村 洋	丹羽 修	二瓶 好正	
	平井 昭司	保母 敏行	前田 瑞夫	宮村 一夫	
	矢野 良子	山崎 素直	山根 兵		
監事	坂本 美徳	安田 純子			
常任幹事	会田 秀樹	石川 隆一	岩崎 雄介		
	上野 祐子	上原 伸夫	梅林 泰宏	梅村 知也	
	大橋 朗	勝田 正一	川原 正博	国村 伸祐	
	桑原 哲夫	坂元 秀之	敷野 修	四宮 一総	
	東海林 敦	菅原 一晴	谷合 哲行	津越 敬寿	
	豊田 太郎	並木 健二	林 英男	本田 俊哉	
	山本 博之	吉田 達成			
支部幹事	青木 寛	伊藤 里恵	大塚 克弘		
	小谷 明	小玉 修嗣	齋藤 伸吾	菅沼 こと	
	鈴木 憲子	高橋あかね	丹羽 宏之	野元 邦治	
	半田友衣子	蛭田 勇樹	南 豪	村田 英明	
	森岡 和夫				

②研究発表会

- (1) 第 32 回新潟地区部会研究発表会 : 9月 21 日(金), 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」において開催, 特別講演 3 件, 一般講演 4 件, ポスターセッション 20 件新潟地区部会若手授賞式・情報交換会を行った。(参加者 74 名)。
- (2) 第 15 回茨城地区分析技術交流会 : 12月 7 日(金), 茨城大学水戸キャンパス講堂において開催,特別講演 3 件, 井村久則先生退職記念講演 1 件,ポスターセッション 17 件及び情報交換会を行った (参加者 112 名)。

③講習会

- (1) 第 58 回機器分析講習会 : 第 1 コース 6月 21~22 日 アジレントテクノロジー (受講者 34 名), 第 2 コース 7月 25~27 日慶應義塾大学 (受講者 34 名), 第 3 コース 11月 28 日島津製作所 (受講者 30 名) で開催した。
- (2) 第 31・32 回分析化学基礎実習講座 : 8月 30~31 日

東京理科大学(受講者35名),2月14~15日(受講者33名)パーキンエルマー・ジャパンで各々開催した。

④講演会・セミナー

- (1) 第1回横浜セミナー:7月30日(月)神奈川県立かながわ労働プラザにおいて開催(参加者57名)。
- (2) 東日本分析化学若手交流会:7月6~7日(金,土)新富亨(宮城県松島)にて東北支部と共催。(参加者73名)。
- (3) 30年度日本分析化学会関東支部若手セミナー:11月22日(木)東京大学生産技術研究において開催(参加者43名)。
- (4) 新世紀賞・(新人賞)講演会・新年交流会:1月8日(火)秋葉原ダイビル18階(株)日立製作所において開催。新世紀賞受賞者は,豊田太郎,長瀬健一各氏。新世紀賞(新人賞)受賞者は,岡村浩之,土戸優志各氏。

⑤各県分析化学交流会

- (1) 第14回千葉県分析化学交流会:7月4日(水)幕張国際研修センターにおいて開催。(参加者17名)

⑥群馬地区分析技術交流会:10月4~5日(木,金)群馬大学伊香保研にて開催。環境分析研究懇談会主催,関東支部後援。

⑦山梨地区分析交流会:3月4日(月)梨大学大村智記念学術館にて開催。

⑧支部ニュースの発行

関東支部ニュース第29号を発行した。

【中部支部】

①役員の選任

支部長	馬場 嘉信				
次期支部長	石田 康行				
副支部長	金子 聡	高山 勝巳			
顧問	板谷 芳京	上田 一正	上田 穰一		
	太田 清久	酒井 忠雄	佐々木与志実	鈴木 正巳	
	田口 茂	柘植 新	寺田喜久雄	永長 幸雄	
	中村 俊夫	野村 俊明	原 稔	舟橋 重信	
	本浄 高治	三輪 智夫	村田 旭	山田 真吉	
	山寺 秀雄				
参与	一ノ木 進	井村 久則	宇野 文二		
	大谷 肇	北川 邦行	小泉 貞之	竹内 豊英	
	早川 和一	樋上 照男	平出 正孝	藤本 忠蔵	
	湯地 昭夫				
監事	小谷 明	片野 肇			
庶務幹事	安井 隆雄	松宮 弘明			
会計幹事	湯川 博	奥山 修司			
常任幹事	大橋 芳明	小川 数馬	江坂 幸宏		
	北川 慎也	栗原 誠	後反 克典	巽 広輔	
	袋布 昌幹	古川 真衣	村上 博哉		
幹事	伊藤 雅章	今田 芳憲	内村 智博		
	大嶋 俊一	太田 一徳	甲斐 穂高	香川 信之	
	勝又 英之	加藤 仁志	儀賀 義勝	北出 和久	
	小島 慎司	齊戸 美弘	佐々木洋子	清水 雅裕	
	妹尾 健吾	高木 秀夫	高橋 透	高橋 史樹	
	柘植 明	手嶋 紀雄	遠田 浩司	丹羽 敏之	
	丹羽 啓誌	東 由記雄	真塩麻彩美	間中 淳	
	南谷 臣昭	安井 孝志	山本 保	吉田 佳宏	
	四津 佳伸	Lim Lee Wah	藁科 知之		

②研究発表会

- (1) 第49回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(特別討論会):11月3~4日,名古屋大学,招待講演2件,依頼講演2件,一般講演28件を行った(参加者80名)。

③講演会

- (1) 北陸地区講演会:7月6日および,その代替として10月6日に福井で開催予定であったが,両日ともに大雨および台風により交通機関が運休したために開催中止した。
- (2) 岐阜地区講演会:11月2日,岐阜薬科大学で開催,講演2件を行った(参加者30名)。

- (3) 愛知地区講演会:11月14日,名古屋工業大学で講習会と併せて開催,講演3件を行った(参加者42名)。

④講習会

- (1) 第28回基礎及び最新の分析化学講習会:11月13~14日,名古屋工業大学で開催,講義7件を行った(参加者29名)。

⑤セミナー

- (1) 第37回分析化学中部夏期セミナー:8月30日~31日,福井大学およびすかつとランド九頭竜で,中部支部・近畿支部合同夏期セミナーとして開催した。受賞講演1件,依頼講演1件,新製品紹介講演6件,ポスター発表83件を行った(参加者156名)。
- (2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第18回高山フォーラム:11月16~17日,高山市図書館お宿山久で開催,プレ卒論発表8件,ポスター発表42件を行った(参加者66名)。

【近畿支部】

①役員の選任

支部長	辻 幸一				
次期支部長	茶山 健二				
副支部長	久保埜公二	川崎 英也			
庶務幹事	中原 佳夫	吉田 裕美	末吉 健志		
会計幹事	堀田 弘樹	牧 秀志			
参与	荒川 隆一	池田 重良	池田 篤治		
	池田 昌彦	市村 彰男	小川禎一郎	尾崎 幸洋	
	垣内 隆	木原 壯林	木村 恵一	木村 優	
	紀本 岳志	日下 譲	小島 次雄	佐伯 正夫	
	佐藤 昌憲	澁谷 康彦	田中 久	田中 稔	
	谷口 一雄	千熊 正彦	辻 治雄	寺部 茂	
	中川 照眞	中原 武利	藤田 芳一	藤原 英明	
	穂積啓一郎	増田 嘉孝	松井 正和	松下 隆之	
	八尾 俊男	脇阪 達司	渡辺 巖	渡會 仁	
常任幹事	青山 佳弘	糟野 潤	北隅 優希		
	高山 透	田中 洋充	塚越 一彦	塚原 聡	
	永井 秀典	中山 茂吉	西 直哉	橋田紳乃介	
	久本 秀明	松本 明弘	村松 康司	森内 隆代	
	森澤 勇介	安川 智之	山口 敬子		
幹事	浅川 大地	飯田 琢也	石切山一彦		
	石濱 泰	伊藤 滋之	岩月 聡史	岩本 仁志	
	上田 啓太	宇田 亮子	梅谷 重夫	遠藤 達郎	
	大内 幹雄	大塚 利行	大城 敬人	大塚 浩二	
	岡田 邦彦	岡本 行広	奥田 浩子	尾関 徹	
	小堤 和彦	小山 宗孝	門 晋平	久納 健司	
	柄谷 肇	河合 潤	川井 隆之	河田 聡	
	河野 宏彰	河原 直樹	川元 達彦	北出 達也	
	北山 紗織	木村 敦臣	久保 拓也	久保田直哉	
	倉内 奈美	桑本 恵子	小池 亮	小林 典裕	
	坂本 英文	作花 哲夫	佐々木健次	佐々木隆之	
	椎木 弘	下山 昌彦	東海林竜也	白井 理	
	杉原 崇康	杉山 雅人	鈴江 崇彦	鈴木 茂生	
	鈴木 哲仁	諏訪 雅頼	宗林 由樹	高木 達也	
	高橋 弘樹	高原 晃里	竹田さほり	田中 章夫	
	田中 陽	谷口 理	民谷 栄一	千葉 光一	
	都築 英明	角井 伸次	壺井 基裕	坪井 泰一	
	津村ゆかり	天満 敬	土井 光暢	床波 志保	
	豊田 岐聡	内藤 豊裕	中口 譲	中澤 隆	
	中島 陽一	中田 靖	中西 和樹	中林 安雄	
	並川 敬	西埜 誠	野田 達夫	萩中 淳	
	長谷川 健	張野 宏也	東 昇	藤居 義和	
	藤嶽 暢英	藤原 啓一	藤森 啓一	細久 憲	
	本間 秀和	前田 耕治	松尾 修司	丸尾 雅啓	
	三木功次郎	三田村邦子	三戸彩絵子	宮道 隆	
	向井 浩	村上 正裕	森田 成昭	矢嶋 撰子	
	山垣 亮	山田 悦	山本 克彦	山本 茂樹	
	山本 雅博	横井 邦彦	吉田 朋子	米倉 忠史	
	脇田 慎一				

②講演会

- (1) 第13回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3月16日、大阪科学技術センターで開催、表彰・受賞講演2件を行った。
- (2) 第1回支部講演会：4月13日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。
- (3) 第2回支部講演会：7月20日、日鉄住金テクノロジー(株)で開催、講演2件を行った。
- (4) 近畿支部創設65周年記念講演会：11月2日、大阪市立大学学術情報総合センターで開催、式典、記念講演2件、ポスター講演、パネルディスカッションを行った。(参加者149名)
- (5) 第3回支部講演会：12月7日、大阪科学技術センターで開催、講演2件を行った。

③講習会

- (1) ぶんせき講習会・基礎編その1：5月11日、大阪市立大学文化交流センターで開催、講義・講習5件を行った(受講者79名)。
- (2) ぶんせき講習会・基礎編その2：6月22日、(株)島津製作所関西支社で開催、講義4件と実習を行った(受講者20名)。
- (3) ぶんせき講習会・実践編(第65回機器による分析化学講習会)：7月13日、日本電子(株)西日本ソリューションセンターで開催、講義3件と実習を行った(受講者25名)。
- (4) ぶんせき講習会・発展編：11月30日、大阪大学豊中キャンパスで開催、講義3件と見学実習を行った(受講者9名)。

④セミナー

- (1) 第1回提案公募型セミナー：4月24日、けいはんなプラザで開催、講演3件を行った。(参加者26名)。
- (2) 第12回平成夏季セミナー(中部支部と合同開催)：8月30～31日、福井大学文京キャンパス及びすかつとランド九頭竜で開催、講演8件、ポスターセッションを行った(参加者156名)。
- (3) 第2回提案公募型セミナー：12月12日、三島薬学教育センターで開催、講演2件を行った。(参加者22名)。
- (4) 第3回提案公募型セミナー：2019年1月11日、大阪市立大学杉本キャンパスで開催、講演11件を行った。(参加者30名)。
- (5) 第4回提案公募型セミナー：1月29日、大阪産業技術研究所森ノ宮センターで開催、講演4件を行った。(参加者51名)。

⑤支部ぶんきんニュースを3回発行した。

【中国四国支部】

①役員を選任

支部長	金田 隆				
次期支部長	早川慎二郎				
副支部長	若林 茂夫				
支部参与	池田 早苗	伊藤 一明	今井 嘉彦		
岩知道	正 大島 光子	奥村 稔	小倉興太郎		
木ト	光夫 熊丸 尚宏	善木 道雄	田頭 昭二		
竹味	弘勝 中野 惠文	林 康久	平田 静子		
廣川 健	藤原 照文	真鍋 敬	宮田 晴夫		
本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	北條 正司		
山崎 恒博					
支部監事	田中 秀治	名郷 洋信			
庶務幹事	武安 伸幸	水口 仁志	山本 祐平		
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	朝日 剛	一色 健司	石坂 昌司		
泉 雅典	今井 昭二	上田 真史	受田 浩之		
岡田 圭司	紙谷 浩之	北出 哲朗	北山 宏三		
小園 修治	児玉 竜二	座古 保	高柳 俊夫		
田所 大典	谷本 典之	中山 雅晴	西 博行		

原 哲也	藤原 薫	村上 良子	森本 稔		
藪谷 智規	横山 崇	吉田 和広	吉村 友宏		
和田 修治					
支部幹事	浅野 比	安達 健太	井上 裕文		
上田 忠治	小野 浩	片岡 洋行	川村 邦男		
小松原恒生	島崎 洋次	管原 庄吾	竹内 政樹		
竹永 史典	谷村 俊史	永阪 文惣	中田 健一		
難波 亨	樋口 浩一	藤原 勇	淵脇 雄介		
實来佐和子	森 勝伸	門木 秀幸	山下 浩		
山本 剛	山本 孝	吉岡 徹	吉田 祐一		
吉本 誠					

②研究発表会

- (1) 2018年日本化学会中国四国支部大会愛媛大会(共催)：2018年11月17日(土)～18日(日) 愛媛大学城北キャンパス(松山市)で開催。発表件数 口頭160件 ポスター 228件(参加者641名)。
- (2) 2018年11月17日(土)～18日(日) 愛媛大学城北キャンパス共催：2018年12月9日(土) 広島大学東広島キャンパス(東広島市)で開催。14件の口頭発表を行った。(参加者69名)。

③講演会

- (1) 中国四国支部分析化学講演会：2018年3月3日(土) 広島大学学生会館レセプションホールで開催。伊藤一明氏(近畿大工)、吉屋晴夫氏(株式会社UBE科学分析センター)の講演を行った(参加者48名)。
- (2) 岡山地区講演会(岡山地区分析技術懇談会と共催)：2018年3月10日(土) 岡山大学理学部11講義室で開催。特別講演1件、研究紹介3件を行った(参加者30名)。
- (3) 広島地区講演会(広島地区分析技術研究会と共催)：2018年度は開催せず。
- (4) 周南地区講演会(周南地区コンビナート分析研究会と共催)：2018年度開催せず。
- (5) 山口地区講演会(山口機器分析研究会と共催)：2018年12月11日(火)、山口大学理学部で開催。依頼講演1件、ポスター発表10件を行った(参加者20名)。
- 宇部・山陽小野田地区講演会(宇部地区分析技術研究会と共催)：2018年度は開催せず。
- (6) 愛媛地区講演会(愛媛地区分析技術懇談会、先端ナノ・バイオ分析研究会と共催)：2018年8月1日(水)、愛媛大学城北キャンパス 総合研究棟16F理学部会議室で開催。依頼講演3件を行った(参加者27名)。
- (7) 徳島地区講演会(徳島化学工学懇話会と共催)：2019年2月1日(金) 徳島大学常三島キャンパス総合科学部1号館会議室で開催。依頼講演2件、研究発表2件を行った(参加者53名)。
- (8) 鳥取地区講演会(鳥取総合分析研究懇談会と共催)：2018年12月21日(金)、鳥取環境大学まちなかキャンパスで開催。講演1件、話題提供2件を行った(参加者25名)。
- (9) 島根地区講演会(島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催)：2018年03月02日(金)、島根大学総合理工学部1号館2F 大学院棟講義室で開催。依頼講演2件を行った(参加者26名)。
- (10) 高知地区講演会(高知地区分析技術懇談会と共催)：2018年12月15日(土)、高知大学朝倉キャンパスで開催。依頼講演2件を行った(参加者13名)。
- (11) 外国人学者講演会：2018年5月11日(金)10時から、岡山大学コラボ棟201講習室で開催(参加者15名)。

④講習会

- 第55回分析化学講習会：2018年6月29日(金)、徳島大学 常三島キャンパス 工業会館で開催。特別講演1件、講義8件、ランチョンセミナー1件を実施、参加者89名、実行委員長 高柳俊夫氏(徳島大院理工)。

⑤セミナー

第24回中国四国支部分析化学若手セミナー：2018年6月30日(土)、7月1日(日) 鷲敷野外活動センターで開催。依頼講演3件および研究発表(ポスター)27件などを実施、参加者61名、世話人 山本 祐平氏(徳島大院理工)。

⑥中国四国支部60周年行事

2018年11月16日(金) ピュアリティまきび(岡山市)で開催。記念式典、記念講演会(依頼講演3件)および記念祝賀会を行った(参加者48名)。

【九州支部】

①役員を選任

支部長	高 椋 利幸				
次期支部長	浜瀬 健司				
副支部長	森 健	松田 直樹			
参与	飯盛喜代春	石黒 慎一	今任 稔彦		
岩崎 正武	大森 保	甲斐 雅亮	鎌田 薩男		
喜納 兼勇	黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔		
城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明		
出口 俊雄	中村 博	増田 義人	松本 清		
山田 淳	脇田 久伸				
監査	戸田 敬	内原 博			
庶務幹事	梅木 辰也				
会計幹事	真瀬田幹生				
常任幹事	石川 洋哉	稲田 幹	井原 敏博		
大島 達也	大庭 義史	加地 範匡	川上 健次		
神崎 亮	宗 伸明	竹中 繁織	竹原 公		
巴山 忠	増田 寿伸				
幹事	新垣 雄光	安藤 功	井倉 則之		
池上 天	石岡 寿雄	石田 雄士	井上 高教		
今坂藤太郎	宇都宮 聡	大浦 博樹	王子田彰夫		
大渡 啓介	大平 慎一	岡上 吉広	尾本 憲昭		
恩田 健	片山 佳樹	加藤 祐子	梶島 力		
梶島 正美	上畑桂太郎	河津 博文	川畑 明		
岸川 直哉	北村 裕介	木下 将和	木下 英治		
蔵脇 淳一	栗崎 敏	栗原 龍	黒田 直敬		
呉 行正	児玉谷 仁	財津 慎一	笹木 圭子		
佐藤しのぶ	佐藤 博	佐藤 正雄	澤津橋徹哉		
塩路 幸生	柴田 孝之	清水 陽一	下田 満哉		
白土 英樹	末田 慎二	高橋 浩司	田中 明		
田中 充	天日 美薫	富永 昌人	富安 卓滋		
中島憲一郎	中嶋 直敏	中島 常憲	中園 学		
中武 貞文	中野 幸二	中山 守雄	新留 康郎		
西田 正志	二村 和孝	能田 均	能登 征美		
野間 誠司	馬場 由成	原口 浩一	原田 明		
原田 雅章	肥後 盛秀	前田 明広	又吉 直子		
松井 利郎	松野 康二	松森 信明	光井 康浩		
満尾 良弘	満塩 勝	南原 直人	村田 正治		
安田みどり	柳 雅之	藪下 彰啓	山口 英敬		
山口 敏男	山口 政俊	横山 拓史	吉田 亨次		
吉田 秀幸	吉留 俊史	吉村 和久	和田 光弘		

②研究発表会

(1) 第55回化学関連支部合同九州大会(共催)：6月30日、北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表4件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。

③講演会

(1) 第31回九州分析化学若手の会・春の講演会(主催)：5月19日、福岡大学中央図書館多目的ホールで開催。
(2) 機器分析ワークショップ(主催)：3月26日～27日(鹿児島大学機器分析センター)、6月29日(福岡大学中央図書館)、11月29日(鹿児島大学理学部)で開催。
(3) 新技術インハウスセミナー(主催)：7月20日(京セラ(株)国分工場分析センター)で開催。
(4) 九州支部講演会・見学会(主催)：11月16日、サンメッセ鳥栖・産業技術総合研究所九州センターで開催。

④講習会

(1) 第59回分析化学講習会(主催)：8月7日～10日、福岡市産学連携交流センター、九州大学伊都キャンパス、九州大学馬出キャンパス、福岡大学七隈キャンパスで開催。

⑤セミナー

(1) 第36回九州分析化学若手の会・夏季セミナー(主催)：7月27日～28日、荒木観光ホテル(熊本市北区植木)で開催。優秀ポスター発表6件を「九州分析化学若手賞」として表彰。

⑥支部ニュース

支部ニュース第38号(8月)及び第39号(3月)を発行。

2 0 1 8 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(2019 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)			
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	145,774,784	163,201,312	△ 17,426,528
売掛金	1,365,552	1,908,144	△ 542,592
未収金	3,783,121	4,575,812	△ 792,691
棚卸資産	23,785,697	25,632,233	△ 1,846,536
貯蔵品	147,860	151,155	△ 3,295
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	8,852,149	2,153,935	6,698,214
仮払金	429,496	516,308	△ 86,812
流動資産合計	184,338,579	198,338,819	△ 14,000,240
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	17,267,442	2,267,420	15,000,022
標準物質開発基金	27,025,048	34,782,099	△ 7,757,051
分析技術教育基金	12,992,364	12,985,933	6,431
国際交流事業基金	18,643,793	19,143,606	△ 499,813
分析化学研究奨励基金	8,378,421	8,377,585	836
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	20,497,746	21,296,407	△ 798,661
特定資産合計	115,804,814	109,853,050	5,951,764
(3) その他固定資産			
建物	10,272,001	10,756,023	△ 484,022
器具備品	7,570	15,130	△ 7,560
土地	30,607,799	30,607,799	0
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	1,727,880	1,927,800	△ 199,920
その他固定資産合計	42,743,250	43,434,752	△ 691,502
固定資産合計	168,548,064	163,287,802	5,260,262
資産合計	352,886,643	361,626,621	△ 8,739,978

貸 借 対 照 表

(2019 年 2 月 28 日現在)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(単位：円)			
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,266,796	9,547,598	△ 280,802
前受会費	37,253,000	38,103,800	△ 850,800
前受購読料	3,361,600	3,656,800	△ 295,200
前受金	1,900,000	2,375,000	△ 475,000
預り金	1,229,790	1,288,810	△ 59,020
仮受金	78,865	69,865	9,000
賞与引当金	2,421,399	2,297,493	123,906
未払消費税等	1,808,100	2,163,300	△ 355,200
流動負債合計	57,319,550	59,502,666	△ 2,183,116
2. 固定負債			
退職給付引当金	43,520,721	40,537,631	2,983,090
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	54,520,721	51,537,631	2,983,090
負債合計	111,840,271	111,040,297	799,974
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	241,046,372	250,586,324	△ 9,539,952
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	241,046,372	250,586,324	△ 9,539,952
負債及び正味財産合計	352,886,643	361,626,621	△ 8,739,978

正味財産増減計算書

(2018年3月1日～2019年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	700	700	0
基本財産運用益	700	700	0
特定資産運用益	22,315	11,523	10,792
退職給付引当資産運用益	22	22	0
標準物質開発基金運用益	12,949	5,746	7,203
分析技術教育基金運用益	6,431	2,828	3,603
国際交流事業基金運用益	187	196	△ 9
分析化学研究奨励基金運用益	836	836	0
預り保証金引当預金運用益	1,100	1,100	0
支部研究懇談会特定預金運用益	790	795	△ 5
受取入会金	167,000	211,000	△ 44,000
受取会費	84,064,734	86,514,436	△ 2,449,702
正会員会費	31,689,000	32,588,500	△ 899,500
学生会員会費	1,991,250	2,238,750	△ 247,500
維持会員会費	16,398,900	16,518,900	△ 120,000
特別会員会費	15,780,000	17,067,300	△ 1,287,300
公益会員会費	10,684,800	10,648,200	36,600
支部研究受会費	7,520,784	7,452,786	67,998
賛助会員受会費	0	0	0
事業収益	127,457,040	130,756,326	△ 3,299,286
購読料収入	5,595,447	6,336,469	△ 741,022
年会収入	14,861,723	12,971,299	1,890,424
討論会収入	14,652,977	14,877,702	△ 224,725
講演会収入	9,702,409	8,252,256	1,450,153
講習会収入	27,533,232	21,820,441	5,712,791
研究懇談会収入	362,964	428,427	△ 65,463
技能試験収入	12,145,500	13,145,500	△ 1,000,000
分析士事業収入	4,974,225	4,363,083	611,142
印税収入	1,084,953	1,051,721	33,232
教育ビデオ・DVD 頒布収入	1,410,000	1,498,500	△ 88,500
標準物質頒布収入	11,350,662	15,010,556	△ 3,659,894
広告料収入	15,761,959	22,968,539	△ 7,206,580
別刷頒布収入	7,213,640	7,735,735	△ 522,095
複写権使用料収入	255,496	296,098	△ 40,602
技能試験受託収入	0	0	0
JIS改正受託収入	551,853	0	551,853
受取補助金等	22,910,000	21,562,328	1,347,672
受取国庫補助金	20,200,000	18,500,000	1,700,000
受取民間補助金	2,370,000	2,913,341	△ 543,341
受取自治体補助金	340,000	148,987	191,013
受取寄附金	60,000	560,000	△ 500,000
受取寄附金	60,000	560,000	△ 500,000
雑収益	764,375	335,047	429,328
受取利息	52,930	56,901	△ 3,971
雑収益	711,445	278,146	433,299
経常収益計	235,446,164	239,951,360	△ 4,505,196
(2) 経常費用			
事業費	195,714,539	191,120,386	4,594,153
給料手当	23,067,263	22,898,207	169,056
臨時雇賃金	17,987,012	19,021,042	△ 1,034,030
退職給付費用	1,867,414	1,777,630	89,784
法定福利費	4,012,261	3,909,184	103,077
福利厚生費	0	0	0
会議費	20,122,592	15,546,352	4,576,240
旅費交通費	19,075,010	16,971,091	2,103,919
通信運搬費	3,052,998	3,759,982	△ 706,984
減価償却費	462,087	507,131	△ 45,044
修繕費	968,006	1,045,440	△ 77,434

正味財産増減計算書

(2018年3月1日～2019年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗品費	4,550,875	3,675,264	875,611
印刷製本費	31,817,539	32,376,191	△ 558,652
光熱水料費	517,650	284,495	233,155
賃借料	8,367,993	6,001,028	2,366,965
支払リース料	50,863	431,574	△ 380,711
保険料	52,185	51,830	355
諸謝金	10,847,158	11,311,295	△ 464,137
租税公課	5,301,539	5,100,384	201,155
支払負担金	638,306	622,382	15,924
支払助成金	909,840	801,300	108,540
委託費	38,537,382	41,926,635	△ 3,389,253
表彰費	2,845,193	2,496,292	348,901
雑費	663,373	605,657	57,716
管理費	49,271,577	48,923,703	347,874
給料手当	14,583,062	14,814,248	△ 231,186
臨時雇賃金	9,952,653	8,810,996	1,141,657
退職給付費用	1,115,676	1,062,034	53,642
法定福利費	3,661,438	3,603,157	58,281
福利厚生費	47,144	56,070	△ 8,926
会議費	108,186	145,988	△ 37,802
旅費交通費	2,645,432	2,245,985	399,447
通信運搬費	2,305,162	2,297,484	7,678
減価償却費	29,495	30,864	△ 1,369
修繕費	242,002	164,902	77,100
消耗品費	602,472	1,701,658	△ 1,099,186
印刷製本費	224,000	320,350	△ 96,350
光熱水料費	90,528	54,494	36,034
賃借料	331,004	307,006	23,998
支払リース料	3,367,642	2,934,480	433,162
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	7,800	10,300	△ 2,500
支払負担金	1,663,618	1,685,010	△ 21,392
支払助成金	0	0	0
委託費	8,120,091	8,588,302	△ 468,211
表彰費	0	0	0
雑費	174,172	90,375	83,797
経常費用計	244,986,116	240,044,089	4,942,027
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,539,952	△ 92,729	△ 9,447,223
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,539,952	△ 92,729	△ 9,447,223
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,539,952	△ 92,729	△ 9,447,223
一般正味財産期首残高	250,586,324	250,679,053	△ 92,729
一般正味財産期末残高	241,046,372	250,586,324	△ 9,539,952
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	241,046,372	250,586,324	△ 9,539,952

正味財産増減計算書内訳表

(2018年3月1日～2019年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	700	0	700
基本財産運用益	0	700	0	700
特定資産運用益	1,626	20,689	0	22,315
退職給付引当資産運用益	0	22	0	22
標準物質開発基金運用益	0	12,949	0	12,949
分析技術教育基金運用益	0	6,431	0	6,431
国際交流事業基金運用益	0	187	0	187
分析化学研究奨励基金運用益	836	0	0	836
預り保証金引当預金運用益	0	1,100	0	1,100
支部研究懇談会特定預金運用益	790	0	0	790
受取入金	0	167,000	0	167,000
受取会費	61,101,549	22,963,185	0	84,064,734
正会員会費	22,182,300	9,506,700	0	31,689,000
学生会員会費	1,393,875	597,375	0	1,991,250
維持会員会費	11,479,230	4,919,670	0	16,398,900
特別会員会費	11,046,000	4,734,000	0	15,780,000
公益会員会費	7,479,360	3,205,440	0	10,684,800
支部研究懇談会会費	7,520,784	0	0	7,520,784
賛助会員会費	0	0	0	0
事業収益	101,965,632	25,491,408	0	127,457,040
購読料収入	4,476,358	1,119,089	0	5,595,447
年会収入	11,889,378	2,972,345	0	14,861,723
討論会収入	11,722,382	2,930,595	0	14,652,977
講演会収入	7,761,927	1,940,482	0	9,702,409
講習会収入	22,026,586	5,506,646	0	27,533,232
研究懇談会収入	290,371	72,593	0	362,964
技能試験収入	9,716,400	2,429,100	0	12,145,500
分析士事業収入	3,979,380	994,845	0	4,974,225
印税収入	867,962	216,991	0	1,084,953
教育ビデオ・DVD 頒布収入	1,128,000	282,000	0	1,410,000
標準物質頒布収入	9,080,530	2,270,132	0	11,350,662
広告料収入	12,609,567	3,152,392	0	15,761,959
別刷頒布収入	5,770,912	1,442,728	0	7,213,640
複写権使用料収入	204,397	51,099	0	255,496
技能試験受託収入	0	0	0	0
JIS改正受託収入	441,482	110,371	0	551,853
受取補助金等	22,910,000	0	0	22,910,000
受取国庫補助金	20,200,000	0	0	20,200,000
受取民間補助金	2,370,000	0	0	2,370,000
受取自治体補助金	340,000	0	0	340,000
受取寄附金	60,000	0	0	60,000
受取寄附金	60,000	0	0	60,000
雑収益	712,962	51,413	0	764,375
受取利息	1,517	51,413	0	52,930
雑収益	711,445	0	0	711,445
経常収益計	186,751,769	48,694,395	0	235,446,164
(2) 経常費用				
事業費	195,714,539	0	0	195,714,539
給料手当	23,067,263	0	0	23,067,263
臨時雇賃金	17,987,012	0	0	17,987,012
退職給付費用	1,867,414	0	0	1,867,414
法定福利費	4,012,261	0	0	4,012,261
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	20,122,592	0	0	20,122,592
旅費交通費	19,075,010	0	0	19,075,010
通信運搬費	3,052,998	0	0	3,052,998
減価償却費	462,087	0	0	462,087
修繕費	968,006	0	0	968,006

正味財産増減計算書内訳表

(2018年3月1日～2019年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消耗品費	4,550,875	0	0	4,550,875
印刷製本費	31,817,539	0	0	31,817,539
光熱水料費	517,650	0	0	517,650
賃借料	8,367,993	0	0	8,367,993
支払リース料	50,863	0	0	50,863
保険料	52,185	0	0	52,185
諸謝金	10,847,158	0	0	10,847,158
租税公課	5,301,539	0	0	5,301,539
支払負担金	638,306	0	0	638,306
支払助成金	909,840	0	0	909,840
委託費	38,537,382	0	0	38,537,382
表彰費	2,845,193	0	0	2,845,193
雑費	663,373	0	0	663,373
管理費	0	49,271,577	0	49,271,577
給料手当	0	14,583,062	0	14,583,062
臨時雇賃金	0	9,952,653	0	9,952,653
退職給付費用	0	1,115,676	0	1,115,676
法定福利費	0	3,661,438	0	3,661,438
福利厚生費	0	47,144	0	47,144
会議費	0	108,186	0	108,186
旅費交通費	0	2,645,432	0	2,645,432
通信運搬費	0	2,305,162	0	2,305,162
減価償却費	0	29,495	0	29,495
修繕費	0	242,002	0	242,002
消耗品費	0	602,472	0	602,472
印刷製本費	0	224,000	0	224,000
光熱水料費	0	90,528	0	90,528
賃借料	0	331,004	0	331,004
支払リース料	0	3,367,642	0	3,367,642
保険料	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	7,800	0	7,800
支払負担金	0	1,663,618	0	1,663,618
支払助成金	0	0	0	0
委託費	0	8,120,091	0	8,120,091
表彰費	0	0	0	0
雑費	0	174,172	0	174,172
経常費用計	195,714,539	49,271,577	0	244,986,116
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,962,770	△ 577,182	0	△ 9,539,952
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,962,770	△ 577,182	0	△ 9,539,952
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,962,770	△ 577,182	0	△ 9,539,952
一般正味財産期首残高	185,124,937	65,461,387	0	250,586,324
一般正味財産期末残高	176,162,167	64,884,205	0	241,046,372
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	176,162,167	64,884,205	0	241,046,372

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)

器具備品…定率法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	2,267,420	15,000,022	0	17,267,442
標準物質開発基金	34,782,099	12,949	7,770,000	27,025,048
分析技術教育基金	12,985,933	6,431	0	12,992,364
国際交流事業基金	19,143,606	187	500,000	18,643,793
分析化学研究奨励基金	8,377,585	836	0	8,378,421
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	21,296,407	1,623,476	2,422,137	20,497,746
小 計	109,853,050	16,643,901	10,692,137	115,804,814
合 計	119,853,050	16,643,901	10,692,137	125,804,814

財務諸表に対する注記

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	-	(10,000,000)	-
小 計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	17,267,442	-	-	(17,267,442)
標準物質開発基金	27,025,048	-	(27,025,048)	-
分析技術教育基金	12,992,364	-	(12,992,364)	-
国際交流事業基金	18,643,793	-	(18,643,793)	-
分析化学研究奨励基金	8,378,421	-	(8,378,421)	-
預り保証金引当預金	11,000,000	-	-	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	20,497,746	-	(20,497,746)	-
小 計	115,804,814	-	(87,537,372)	(28,267,442)
合 計	125,804,814	-	(97,537,372)	(28,267,442)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	57,522,500	47,250,499	10,272,001
器具備品	5,779,913	5,772,343	7,570
合 計	63,302,413	53,022,842	10,279,571

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国庫補助金	日本学術振興会	0	20,200,000	20,200,000	0
自治体補助金	宇部市	0	280,000	280,000	0
	高山市	0	60,000	60,000	0
民間補助金	化学物質評価研究機構等	0	2,370,000	2,370,000	0
合 計		0	22,910,000	22,910,000	0

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項はありません。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	2,297,493	2,421,399	2,297,493	0	2,421,399
退職給付引当金	40,537,631	2,983,090	0	0	43,520,721

財産目録

2019年 2月28日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金		運転資金として(本部現金755,493円)	1,737,957
預金			144,036,827
	手元保管		
	預金合計		56,362,195
	普通預金		
	三井住友銀行五反田支店	本部	11,581,572
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	5,570,056
	三井住友銀行新宿通支店	本部	5,383,492
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	6,100,835
	三井住友銀行五反田支店	本部科研費口	0
	みずほ銀行五反田支店	本部	27,649,048
	三井住友銀行中もず支店	若手交流会	77,192
	支部/普通預金		36,266,095
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	2,638,643
	青森銀行弘前支店	東北支部	3,283,778
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	1
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	17,051,998
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	3,066,592
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	5,063,786
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	1,875,048
	広島銀行西条支店	中国四国支部	3,286,249
	研究懇談会/普通預金		28,569,329
	みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	487,414
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	3,830,834
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,604,984
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	9,224,558
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	2,483,733
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	447,412
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	3,751,467
	三井住友銀行中もず支店	化学センサー研究懇談会	64,140
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	567,127
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	568,546
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,982,574
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	111,000
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,048,099
	三菱UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	182,720
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	19,865
	京都銀行下鴨支店	電気分析化学研究懇談会	42,840
	みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	32,022
	三菱UFJ銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	118,988
	京葉銀行みどり台支店	68年会実行委員会が使用	2,001,006
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		7,225,293
		討論会	838,321
		近畿支部	722,666
		九州支部	2,166,195
		受託分析研究懇談会	923,775
		溶液界面研究懇談会	35,565
		有機微量分析研究懇談会	1,998,151
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	317,282
		フローインジェクション分析研究懇談会	140,877
		溶液反応化学研究懇談会	22,971
		ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	59,490
	ゆうちょ銀行(振替口座)	運営資金として	8,265,451
		本部	2,421,531
		大会口	9,000
		環境分析研究懇談会	558,795
		有機微量分析研究懇談会	420,646
		X線分析研究懇談会	789,004
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	0
		フローインジェクション分析研究懇談会	2,001,295
		表示・起源分析技術研究懇談会	2,048,508
		レアメタル分析研究懇談会	16,672
	定期預金		7,348,464
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,955
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,275,553
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,266,956

	売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	1,365,552
	未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	3,783,121
	前払金	討論会・年会実行委員会他		8,852,149
	討論会		第79回討論会実行委員会	156,419
	標準物質		標準物質作成費用	7,205,760
	その他		業者委託費	1,489,970
	棚卸資産	会誌/標準物質/教育DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	23,785,697
	標準物質			20,488,444
	DVD			2,070,600
	分析士解説書			1,189,027
	その他			37,626
	貯蔵品	切手, 印紙, はがき,	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	147,860
	一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
	仮払金			429,496
	労働保険料		労働保険料未精算分	429,496
流動資産合計				184,338,579
(固定資産)				
基本財産				
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
				10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産			職員の退職金の支払いのために使用	17,267,442
普通預金	みずほ銀行五反田支店			17,267,442
標準物質開発基金			支払の財源として使用 標準物質開発事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	27,025,048
普通預金	三井住友銀行五反田支店			7,025,048
定期預金	三井住友銀行五反田支店			20,000,000
預り保証金引当預金				11,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金 であり, 運用益を本事業の財源として使用	10,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた 預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000
国際交流事業基金			研究会事業の積立資産であり, 運用益を 本事業の財源として使用	18,643,793
普通預金	三井住友銀行五反田支店			18,643,793
分析化学研究奨励基金			公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨 励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	8,378,421
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部			8,378,421
分析技術教育基金			講演会事業の積立資産であり, 運用益を 本事業の財源として使用	12,992,364
普通預金	三井住友銀行五反田支店			2,992,364
定期預金	三井住友銀行五反田支店			10,000,000
支部研究懇談会特定預金			各支部研究懇談会の積立資産であり, 運用益 を本事業の財源として使用	20,497,746
普通預金	北洋銀行本店営業部		北海道支部	0
	七十七銀行大学病院前支店		東北支部	4,516,147
	みずほ銀行名古屋支店		中部支部	2,973,340
	りそな銀行御堂筋支店		近畿支部	1,401,252
	四国銀行朝倉支店		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,622,700
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店		フローインジェクション分析研究懇談会	974,211
	大阪信用金庫杉本町支店		X線分析研究懇談会	2,328,035
定期預金	みずほ銀行五反田支店		関東支部	1,660,004
	りそな銀行五反田支店		高分子研究懇談会	3,022,940
	りそな銀行五反田支店		液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,999,117

その他固定資産	建物	220.4 m ² 東京都品川区西五反田		10,272,001
	器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用	7,570
	土地	30.22 m ² 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の管理業務で使用している	30,607,799
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		1,727,880
固定資産合計				168,548,064
資産合計				352,886,643
(流動負債)	未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	9,266,796
	前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	37,253,000
	前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	1,900,000
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	3,361,600
	預り金	所得税 社会保険料等		1,229,790
	年会			1,006
	健康保険料			152,880
	厚生年金保険料			285,480
	源泉所得税			164,004
	住民税			176,500
	その他			449,920
	仮受金			78,865
	賞与引当金	職員5名の夏期賞与	職員5名の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,421,399
	未払消費税等			1,808,100
流動負債合計				57,319,550
(固定負債)	退職給付引当金	職員5名の退職金	職員5名の退職金の支払いに備えたもの	43,520,721
	預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告、標準物質販売に関して受け入れたもの 会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受け入れたもの	11,000,000 10,000,000 1,000,000
固定負債合計				54,520,721
負債合計				111,840,271
正味財産				241,046,372



監事監査報告書

公益社団法人日本分析化学会

会長 岡田 哲男 殿

2019年3月26日

公益社団法人日本分析化学会

監事 丹羽 修 
監事 原村 一夫 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の2018年3月1日から2019年2月28日までの2018年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第7条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、2018年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、当社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2019 年度事業計画書

(2019 年 3 月 1 日～2020 年 2 月 29 日)

1. 定時総会の開催 (定款第 17 条)

第 8 回定時総会を下記のとおり行う。
日時 2019 年 4 月 23 日 (火) 14 時 00 分より
場所 五反田文化会館 (東京都品川区西五反田 1-32-2)
参加予定者数 100 人

2. 会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- ① 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。
2019 年第 3 号～2020 年第 2 号 毎月 1 回、5 日に発行 (各号 A4 判, 100 ページ)
発行部数 5,900
- ② 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。
第 68 巻第 3 号～第 12 号を毎月 1 回、および第 69 巻第 1 号と 2 号の合併号を 2020 年 1 月に、それぞれ 5 日に発行 (各号 A4 判, 70 ページ)
発行部数 2,000
- ③ 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。
Vol.35, No.3～Vol.36, No.2 を毎月 1 回、10 日に発行 (各号 A4 判, 136 ページ)
発行部数 620
- ④ 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。
Vol.35, No.3～Vol.36, No.2 を毎月 1 回発行 (web のみによる無料公開)。
- ⑤ メールマガジンを発行する。
- ⑥ 「分析士試験問題の解説」(本会)等の書籍を出版する。

3. 講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

- ① 研究発表会
※第 79 回分析化学討論会を下記のとおり行う。
日時: 2019 年 5 月 18 日 (土)・19 日 (日)
場所: 北九州国際会議場及び AIM (北九州市)
参加予定者数 700 人, 演題数 400 件
産業界 R&D ポスター紹介、高校生セッションなども併せて行う予定。
※第 68 年会を下記のとおり行う。
日時: 2019 年 9 月 11 日 (水)～13 日 (金)
場所: 千葉大学西千葉キャンパス (千葉市)
参加予定者数 1,300 人, 演題数 800 件
- ② 講習会 参加予定者数: 合計 300 名
予定テーマ
水中の微量金属成分分析講習会
金属分析技術セミナー
ダイオキシン類分析技術セミナー
セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー
分析化学基礎セミナー (無機分析編)
分析化学の基本と安全セミナー
分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー
電池開発のための分析・解析技術講習会

4. 調査、研究及び建議 (定款第 5 条(3))

- ① JIS
・平成 31 年度区分 A (4 月開始) の日本規格協会の委託に基づき、JIS Z 2613「金属材料の酸素定量方法通則」の改正原案作成を行い、2020 年 10 月発行予定である。

② 技能試験

参加予定試験所数: 合計 260 試験所
ISO/IEC17043 に基づく分析試験所技能試験を行う。
予定テーマ

- ・ダイオキシン類分析技能試験 (模擬排水) 60 試験所
- ・プラスチック中有害金属成分の分析技能試験 65 試験所
- ・トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験又は河川水中無機成分分析技能試験 15 試験所
- ・食品成分の分析技能試験 (粉乳) 30 試験所
- ・放射能分析技能試験 (大豆) 50 試験所
- ・土壌中の無機成分分析技能試験 40 試験所

③ 標準物質

- ・新標準物質 無機成分分析用マグネシウム標準物質 7 品種 を開発し頒布を開始する。
- これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。そのために在庫切れの補給と安定性試験を行う。
- ・在庫切れ品の補給: 無機成分分析用河川水標準物質、無機成分分析用土壌標準物質
 - ・安定性試験: 本年度は該当標準物質なし

④ 教育用 DVD

現在頒布中の教育用ビデオを発展させた DVD 教材の開発のために作業を行う。

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条(4))

- ① 学会賞, 学会功労賞, 技術功績賞, 奨励賞, 有功賞, 「分析化学」論文賞, 先端分析技術賞ならびに女性 Analyst 賞を下記のとおり表彰する。
学会賞 (3 名以内), 学会功労賞 (5 名以内), 技術功績賞 (3 名以内), 奨励賞 (5 名以内), 先端分析技術賞 (2 名以内), 女性 Analyst 賞 (2 名以内), 有功賞 (50 名程度), 「分析化学」論文賞 (1 名)
- ② 他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条(5))

- ① 分析士認証試験を次のとおり行う。
液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～五段の各段位
LC/MS 分析士認証試験 初段～五段の各段位
イオンクロマトグラフィー分析士認証試験 初段, 三段
- ② 分析士会を開催して講演会等の活動を行う。
- ③ アジアの分析化学者との連携をはかるために Asian Analytical Chemistry Network のホームページを運用する。
- ④ 本会の活動ならびに学術・技術の重要性をホームページ, 各種展示, 分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および記者会見などを通じて広報する。
- ⑤ 若手交流会の活動を次のとおり行う。
各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。
分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行う。

7. 各研究懇談会の事業計画

- ① 有機微量分析研究懇談会
委員会を 2 回, 第 86 回有機微量分析研究懇談会シンポジウム (計測自動制御学会・力学量計測部会と共催, 日本分析化学会, 日本化学会, 日本薬学会協賛)

- を6月に京都府京都市（京都大学大学院薬学研究科藤多記念ホール）、講演会（第68年年会会期中）、第16・17回マイクロ電子天びん技術研修会、および第7回マイクロ電子天びんセミナー（座学）を開催するほか 会報第21号（2020年2月）を発行する。
- ②ガスクロマトグラフィー研究懇談会
例会を数回、特別講演会、講習会（実習付含む）を開催する。例会の中で基礎講座を開催する（受講証を発行）。地方での研究懇談会活動を行う。分析化学年会で特別講演会を開催する。本部運営となった日中韓シンポジウムの開催（韓国）に協力する。JAIMAコンファレンスで講習会・講演会を実施する。ガスクロマトグラフィー誕生60周年事業としてアーカイブを公開する。研究懇談会設立60周年記念事業として講習会用テキストを整備する。研究懇談会活動の過去記録、講演会資料等をホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。
- ③高分子分析研究懇談会
例会を5回（うち1回は1泊2日の夏期合宿として開催）、高分子分析技術講習会を2回（前期：基礎編、後期：応用編）、第24回高分子分析討論会を開催する。
- ④X線分析研究懇談会
例会を数回（うち1回は年会時に開催）と第55回X線分析討論会（10月、2日間、福島市内）を開催するほか、「X線分析の進歩」誌（第50集）を出版する。運営委員会は年に2回開催する。第14回浅田賞の選考・授与を行う。
- ⑤分析試薬研究懇談会
第68年会での講演会と幹事会および第17回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム（共催：金沢歌劇座、5月）での招待講演を開催する。
- ⑥溶液界面研究懇談会
講演会、役員会をそれぞれ1回（第68年年会会期中）開催するほか、電子メールによる情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるように年会実行委員会への働きかけを行う。
- ⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会
運営委員会を11回、例会を12回（うち1回は年会時に開催）、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、第25回LC & LC/MSテクノブラザ、LC- & LC/MS-DAYS 2019を開催する。関東支部機器分析講習会第2コース「HPLCとLC/MSの基礎と実践」、JAIMAセミナーにおけるHPLC講習会などを支援する。創立45周年記念事業を行い、「創立45周年記念誌」を発行する。「第4回ILC分析士初段試験解説書」の出版に向け、査読会を実施する。第79回分析化学討論会（北九州国際会議場&AIM）の前日に開催される第11回生涯分析談話会を後援する。
- ⑧化学センサー研究懇談会
化学センサー・バイオセンサーをはじめ、関連分野の研究懇談会講演会（9月、分析化学会年会期間中）を開催する。必要に応じて他の研究懇談会とのジョイント講演会も検討する。また化学センサー関連国際会議等、関連する情報の情報交換を行う。
- ⑨電気泳動分析研究懇談会
講演会を1回（分析化学会年会期間中）開催するほか、第39回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2019）（11月、埼玉）を共催する。電気泳動分析研究懇談会賞（寺部茂賞）の選考、褒章を行う。また、本懇談会ホームページ（HP）の整備を行い、シンポジウムの要旨集アーカイブのHP上での公開ほか、プロトコル集の作成・掲載など内容の充実を図る。
- ⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会
IC講習会、JAIMAセミナー（9月、JAIMA）、IC講演会（9月、第68年会、千葉大学）を予定。日中韓分析化学シンポジウム（韓国開催予定）にGC、LC、FIA、環境分析各研究懇談会と合同で開催を協力する。第36回IC討論会（12月、東京）を予定。運営委員会を年3回開催予定。IC分析士認証試験（三段2019年6月下旬、初段2020年1月下旬）の実施を予定。
- ⑪フローインジェクション分析研究懇談会
第56回FIA講演会（11月、愛知工業大学）を開催する。褒賞委員会を第68年会（9月、千葉大学）会期中に開催する。第79回分析化学討論会（5月、北九州国際会議場&AIM）および第56回FIA講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA) 誌編集委員会を開催するほか、Analysis 第56回FIA講演会中にJAFIA委員会を開催する。JFIA誌を2回（6月、12月）発行する。日中韓分析化学シンポジウム（韓国、開催日未定）に対して、GC、HPLC、IC、環境分析研究懇談会と合同で開催に協力する。
- ⑫環境分析研究懇談会
講演会を2回（第68年年会会期中および6月または12月）、運営委員会を1回（第68年年会会期中）開催する。また、他の研究懇談会や研究会との交流を深め、必要に応じてジョイント講演会を開催する。会員拡充に努め、メーリングリストとホームページを活用した情報発信・情報交換も適宜行う。
- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回（第68年年会会期中および年度前半・後半）、運営委員会を2回開催する。また、必要に応じ他研究会とのジョイント講演会を開催する。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会
講演会を2回（第68年年会会期中および6月または12月）、運営委員会を1回（第68年年会会期中）開催する。また必要に応じ関連する他の研究懇談会とのジョイント講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑮熱分析研究懇談会
講演会を1回（9月、第68年年会会期中）開催予定。第3回熱分析討論会（6月）を開催する。運営委員会を1回（6月）開催する。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。分析化学用語（熱分析）JIS原案の完成。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回（いずれも日本分析化学会第68年年会中）開催する。2019/第42回溶液化学シンポジウム（10月、仙台）を共催する。メーリングリストを作成し適宜情報交換を行う。
- ⑰受託分析研究懇談会
総会とセミナー（11月）および見学会（6月）を各1回行う他、例会（技術情報交換会および運営委員会）を4回開催する。他の研究懇談会等とも交流を深めるとともに、会員間の情報交換を活発に行い、会員拡充を図る。
- ⑱電気分析化学研究懇談会
第79回討論会において、研究懇談会として討論主題「医療・環境のための超微量バイオ/化学センシング」を提案し、依頼講演と一般講演によるシンポジウムを実施する。第68年年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を各1回、開催するほか、メールによる情報交換を行う。HPの充実、会員の募集を図る。国際学会における協力・共同について議論する。
- ⑲ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会
講演会、懇談会を各1回（第68年年会会期中）開催するほか、同分野の会議情報などの交換を行う。他の懇談会とジョイント講演会を開催する。
- ⑳バイオ分析化学研究懇談会
本研究懇談会は、バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流、共同研究の促進等を目的として、夏の合

宿形式のセミナーや分析化学会年会でのシンポジウムを企画する。運営委員会をさらに拡充・充実させると共に、ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。

㊦スクリーニング分析研究懇談会

講演会を2回（年度前半・後半）、運営委員会を1回開催する。またメーリングリストを活用し、会員間での情報交換を行う。

8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

1. 研究発表会：夏季研究発表会（7月上旬）、冬季研究発表会（1月中旬）を開催する。
2. 講演会：化学教育研究協議会（11月上旬）を開催する。
3. セミナー：第35回分析化学緑陰セミナー（7月）、公開セミナー（9月）、第55回氷雪セミナー（1月上旬）を開催する。
4. 支部ニュースの発行：7月、12月（年2回）

【東北支部】

1. 研究発表会：みちのく分析科学シンポジウム2019、平成31年度化学系学協会東北大会を開催する。
2. 講演会：各地区講演会を開催する。
3. セミナー：分離機能とセンシング機能の化学セミナー2019、平成31年度日本分析化学会東北支部若手交流会を開催する。

【関東支部】

1. 講習会：機器分析講習会、分析化学基礎実習講座を開催する。
2. 講演会：新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、新世紀賞・新世紀新人賞講演会、千葉地区交流会、神奈川地区交流会、新年交流会のほか、随時開催する。
3. セミナー：分析化学若手交流会のほか、随時開催する。
4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。
5. 第68年会担当：千葉大学西千葉キャンパス（9月11日～13日）

【中部支部】

1. 研究発表会：第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会（11月9日・10日、信州大学）を共催の予定。
2. 講演会：愛知・静岡・富山での地区講演会および研究者招聘講演会の開催を予定
3. 講習会：第29回基礎および最新の分析化学講習会（愛知）を開催の予定。
4. セミナー：第38回分析化学中部夏期セミナー（9月2日・3日、富山市）、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第19回高山フォーラム（11月、高山市図書館）を開催の予定。

【近畿支部】

1. 講演会：支部講演会（4月、7月、12月）、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会（3月）を開催の予定。
2. 講習会：ぶんせき講習会・基礎編（1、2）（5月、6月）、同・実践編（第66回機器による分析化学講習会）（7月）、同・発展編（11月）を開催の予定。
3. セミナー：提案公募型事業（随時）、第13回夏季セミナー「ぶんせき秘帖」（8月、四条畷市）を開催予定。
4. 支部ニュースの発行（3回の発行予定）

【中国四国支部】

1. 講演会：支部講演会（3月）、岡山・広島・周南・宇部 山陽小野田・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を開催の予定。

2. 講習会：第56回分析化学講習会（6月、岡山）を開催の予定。
3. セミナー：第25回中国四国支部分析化学若手セミナー（広島）を開催の予定。

【九州支部】

1. 研究発表会：第56回化学関連支部合同九州大会（7月）を開催の予定。
2. 講演会：第32回春の研究講演会（6月）、第37回夏季セミナー（7月）、支部講演会・見学会（11月）のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
3. 講習会：第60回分析化学講習会（8月）を開催の予定。
4. その他：地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

2019年度予算書
(2019年3月1日～2020年2月29日)

(単位:円)

科 目	2019年度予算額	2018年度予算額	増 減 (対2018年度計画)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20,000	20,000	0
基本財産受取利息	20,000	20,000	0
特定資産運用益	16,000	16,000	0
退職給付引当資産	100	100	0
標準物質開発基金	5,800	5,800	0
国際交流事業基金	2,900	2,900	0
分析化学研究奨励基金	200	200	0
分析技術教育基金	2,000	2,000	0
預り保証金引当預金	3,000	3,000	0
支部研究懇談会特定預金	2,000	2,000	0
受取入会金	195,000	195,000	0
受取入会金	195,000	195,000	0
受取会費	85,262,000	89,141,000	-3,879,000
正会員受取会費	34,000,000	36,000,000	-2,000,000
学生会員受取会費	1,550,000	1,890,000	-340,000
維持会員受取会費	16,080,000	16,758,000	-678,000
特別会員受取会費	16,260,000	16,500,000	-240,000
公益会員受取会費	10,000,000	10,656,000	-656,000
支部研究懇談会受取会費	7,372,000	7,337,000	35,000
賛助会員受取会費	0	0	0
事業収益	127,194,000	135,952,000	-8,758,000
購読料収入	5,000,000	7,000,000	-2,000,000
年会収入	12,330,000	10,000,000	2,330,000
討論会収入	12,920,000	14,035,000	-1,115,000
講演会収入	7,840,000	6,653,000	1,187,000
講習会収入	24,984,000	23,509,000	1,475,000
研究懇談会収入(含む若手の会)	520,000	370,000	150,000
技能試験収入	12,000,000	13,000,000	-1,000,000
分析士事業収入	4,500,000	4,500,000	0
SS収入	0	0	0
印税収入	500,000	575,000	-75,000
教材頒布収入	2,300,000	2,300,000	0
標準物質収入	13,000,000	20,000,000	-7,000,000
広告料収入	22,500,000	26,430,000	-3,930,000
別刷頒布収入	7,000,000	5,800,000	1,200,000
複写権使用収入	200,000	200,000	0
JIS改正受託収入	400,000	380,000	20,000
事務委託収入	1,200,000	1,200,000	0
受取補助金等	23,300,000	20,230,000	3,070,000
受取国庫補助金	21,200,000	20,200,000	1,000,000
受取民間補助金	2,000,000	0	2,000,000
自治体補助金	100,000	30,000	70,000
受取寄付金	500,000	470,000	30,000
受取寄付金	500,000	470,000	30,000
雑収益	651,000	768,000	-117,000
受取利息収入	55,000	54,000	1,000
雑収入	596,000	714,000	-118,000
経常収益計	237,138,000	246,792,000	-9,654,000

2019年度予算書
(2019年3月1日～2020年2月29日)

(単位:円)

(2)経常費用			
事業費	188,303,000	198,322,000	-10,019,000
給与手当	23,000,000	22,000,000	1,000,000
臨時雇賃金	19,000,000	18,500,000	500,000
退職給付費用	2,000,000	1,600,000	400,000
法定福利費	4,000,000	6,200,000	-2,200,000
会議費	18,000,000	21,220,000	-3,220,000
旅費交通費	16,264,000	17,820,000	-1,556,000
通信運搬費	3,348,000	3,500,000	-152,000
減価償却費	500,000	630,000	-130,000
修繕費	1,000,000	750,000	250,000
消耗品費	3,300,000	4,570,000	-1,270,000
印刷製本費	30,000,000	31,000,000	-1,000,000
光熱水料費	280,000	190,000	90,000
賃借料	1,359,000	1,600,000	-241,000
支払リース料	400,000	800,000	-400,000
支払保険料	75,000	75,000	0
諸謝金	10,000,000	8,460,000	1,540,000
租税公課	5,100,000	5,400,000	-300,000
支払負担金	640,000	640,000	0
支払助成金	770,000	710,000	60,000
内部支払助成金	0	5,480,000	-5,480,000
委託費	42,000,000	38,000,000	4,000,000
表彰費	2,400,000	2,330,000	70,000
雑費	867,000	1,547,000	-680,000
会長企画戦略経費	4,000,000	5,000,000	-1,000,000
記念行事費	0	300,000	-300,000
管理費	48,835,000	48,470,000	365,000
給与手当	15,400,000	15,000,000	400,000
臨時雇賃金	9,000,000	10,000,000	-1,000,000
退職給付費用	1,000,000	400,000	600,000
法定福利費	3,000,000	1,500,000	1,500,000
福利厚生費	70,000	60,000	10,000
会議費	150,000	270,000	-120,000
旅費交通費	2,200,000	3,200,000	-1,000,000
通信運搬費	1,500,000	1,500,000	0
減価償却費	35,000	35,000	0
修繕費	200,000	550,000	-350,000
消耗品費	1,500,000	1,000,000	500,000
印刷製本費	300,000	300,000	0
光熱水料費	50,000	123,000	-73,000
賃借料	210,000	210,000	0
支払リース料	2,900,000	2,900,000	0
租税公課	20,000	22,000	-2,000
支払負担金	1,600,000	1,700,000	-100,000
委託費	8,600,000	8,600,000	0
雑費	100,000	100,000	0
会長企画戦略経費	1,000,000	1,000,000	0
経常費用計	237,138,000	246,792,000	-9,654,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			0
(1)経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0		0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	241,046,372	250,679,053	-9,632,681
一般正味財産期末残高	241,046,372	250,679,053	-9,632,681
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	241,046,372	250,679,053	-9,632,681